

# 愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2009年6週(2月1週2/2~2/8)  
2009年1月報

愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: [eiseiken@pref.aichi.lg.jp](mailto:eiseiken@pref.aichi.lg.jp)

連絡先: 052-910-5619(企画情報部)

## 今週の内容

### トピックス

インフルエンザ(警報発令中)  
集団かぜの発生について(第23~27報)  
定点医療機関コメント  
インフルエンザ、感染性胃腸炎、溶連菌感染症、水痘等

全数把握感染症発生状況( )内は件数。

結核(17)、レジオネラ症(1)、アメーバ赤痢(1)、後天性免疫不全症候群(2)、梅毒(2)

2009年1月報

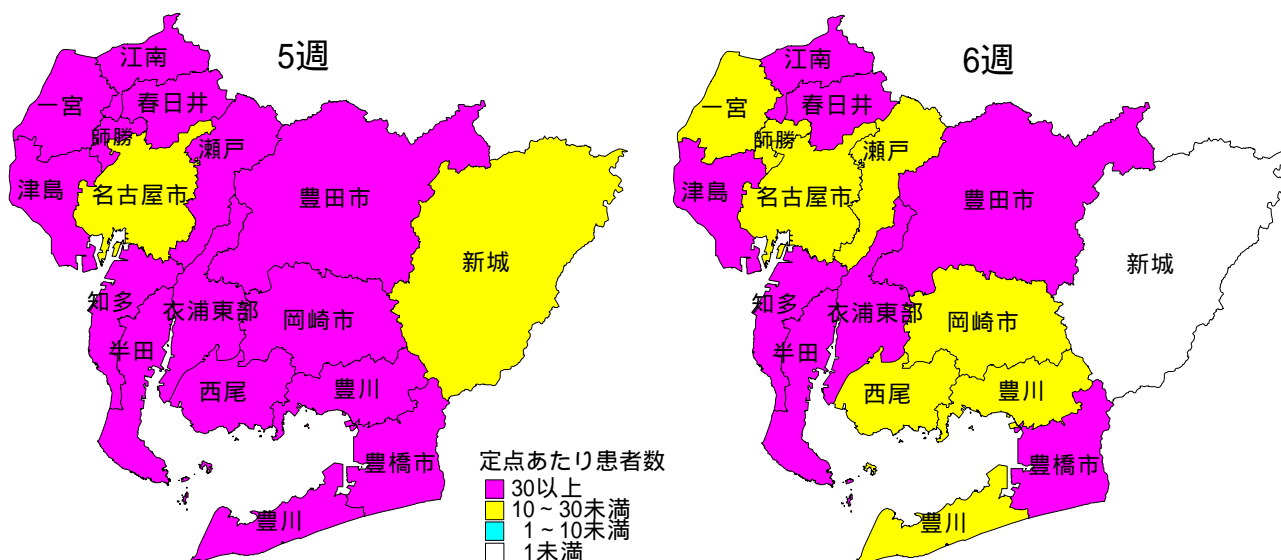
定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)  
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎;江南保健所警報レベル(定点あたり4.0人以上)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf> をご覧ください。

## トピックス

### インフルエンザ(警報発令中)

愛知県全体の定点あたり報告数は28.7人、前週比0.7倍(7,848人 5,605人)です。



### 【参考ページ】

- 1) “インフルエンザ警報”を発令します!!(健康対策課・1月22日発表) <http://www.pref.aichi.jp/0000021925.html>
- 2) 2008/09シーズンインフルエンザ発生状況(保健所別・週別) [http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ\\_map.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map.html)
- 3) 2008/09シーズンインフルエンザウイルス分離状況 [http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri08\\_09.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri08_09.html)

### 集団かぜの発生について(健康対策課発表)

	発表	集団発生施設の管轄保健所	URL
第23報	2月5日	春日井	<a href="http://www.pref.aichi.jp/0000022472.html">http://www.pref.aichi.jp/0000022472.html</a>
第24報	2月6日	師勝	<a href="http://www.pref.aichi.jp/0000022495.html">http://www.pref.aichi.jp/0000022495.html</a>
第25報	2月9日	一宮、江南、津島、西尾、春日井、新城	<a href="http://www.pref.aichi.jp/0000022548.html">http://www.pref.aichi.jp/0000022548.html</a>
第26報	2月10日	瀬戸	<a href="http://www.pref.aichi.jp/0000022571.html">http://www.pref.aichi.jp/0000022571.html</a>
第27報	2月12日	江南、津島	<a href="http://www.pref.aichi.jp/0000022598.html">http://www.pref.aichi.jp/0000022598.html</a>

## 定点医療機関コメント（名古屋市除く）

### 尾張西部地区

インフルエンザ33人すべてA型。  
9歳女 ワクチン接種済でこの冬A型に2回罹患

【一宮市 あさのこどもクリニック】

現在までインフルエンザA型でタミフル無効例3名あり。

アデノウイルス感染 1歳女 高熱と軽度咽頭発赤

【一宮市 後藤小児科医院】

インフルエンザ減少傾向(40名)の内、3歳男(A型とB型)、4か月男、今期2回罹患(A型の後B型)。

【一宮市 平谷小児科】

インフルエンザ100名(A型97名、B型3名)

【一宮市 一宮市立市民病院】

インフルエンザがピークを迎えつつあります。昨年と同様に2月に入りA群溶連菌も増加してきました。

【犬山市 武内医院】

インフルエンザはピークをすぎた感じです。57名(A型54名、B型3名)

溶連菌感染症、ロタと思われる感染性胃腸炎が増加しています。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

A型インフルエンザ94例(うちワクチン接種者60例)。

水痘、溶連菌続発中。

ロタ陽性2例。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

ロタウイルス 女1歳1名、女2歳1名、女4歳1名 男2歳1名。

インフルエンザ全てA型です。

アデノウイルス 男1歳1名。

【春日町 丹羽医院】

インフルエンザA型 28名。

インフルエンザB型 1名。

【北名古屋市 田中クリニック】

インフルエンザA型55名、インフルエンザB型2名。

【津島市 医療法人参育会加藤医院】

### 尾張東部地区

A型インフルエンザは33%はワクチン済です。

B型インフルエンザ1名。

インフルエンザAと溶連菌感染の混合感染13歳女。

【瀬戸市 津田こどもクリニック】

インフルエンザ22名(全てA型)小流行あり。

その他、溶連菌感染症、水痘、アデノウイルス感染症。

嘔吐、下痢、また少し出てきました。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

10歳男、13歳男、43歳男A型インフルエンザ3名。

【豊明市 豊明団地診療所】

インフルエンザが依然続いています。

RSウイルス感染症も続いています。

【春日井市 春日井市民病院】

A型インフルエンザ30例。

ロタ胃腸炎増加。

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

当院近辺ではインフルエンザが減少しております。

【春日井市 かがわこどもクリニック】

インフルエンザは全例A型です。

【春日井市 竹内医院】

インフルエンザB型1名を含む。

【春日井市 医療法人聡彩会片山こどもクリニック】

インフルエンザは減少傾向です。

7歳男・A型で急に覚醒し奇声を発して走り回るなどの異常行動がありました。[抗フル剤なし]

ロタウイルス胃腸炎も増加してきました。

【小牧市 志水こどもクリニック】

インフルエンザ男12人、女13人出ています。感染性胃腸炎もあいかわらず多いようです。

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

インフルエンザの流行つづく。

感染性胃腸炎の中でのロタ腸炎の割合が増加しています。

【小牧市 小牧市民病院】

インフルエンザA15名、インフルエンザB3名

【半田市 医療法人林医院】

A型74名、B型1名

【半田市 医療法人敬おっかわこどもクリニック】

インフルエンザ8名(内B型1名)

【南知多町 医療法人大岩医院】

ロタウイルス(+) 2歳 男3名

ロタウイルス(+) 1歳 女1名

インフルエンザB型 4歳男

【東海市 東海市民病院】

インフルエンザB型が増えました。A型33名B型12名。

水痘がちらほらいます。

アデノウイルス扁桃炎2名(6歳、9か月)

【東海市 もしもしこどもクリニック】

インフルエンザは1名のみB型。他はA型です。

【東海市 こいで内科医院】

3歳男 インフルエンザB型

6歳女 インフルエンザA型・B型混合

6歳男 帯状疱疹

6歳男 インフルエンザB型

9歳男 インフルエンザB型

【大府市 まえはらこどもクリニック】

## 西三河地区

インフルエンザA型 19名(うち1名は、今シーズン2回目のA型インフルエンザ)

ロタウイルス腸炎 1歳女

サルモネラ腸炎 9歳男

*E. coli*(O1)+ (O25) 5歳男

*E. coli*(O6) 4歳男

溶血性連鎖球菌感染 StrepA(+) 4名、咽頭培養(+)2名

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

インフルエンザA型 33名

インフルエンザB型 6名

【豊田市 田中小児科医院】

インフルエンザA型 19名

インフルエンザB型 2名

ロタウイルス 5名

【豊田市 すくすくこどもクリニック】

インフルエンザA型 15名

【豊田市 足助病院】

インフルエンザは、すべてA型

【岡崎市 医療法人深田小児科】

病原大腸菌O1(+) 10か月男、11か月女

インフルエンザは、すべてA型です。

【岡崎市 花田こどもクリニック】

インフルエンザ感染症やや減少傾向(ワクチン未接種者54%、B型1例)です。

【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】

インフルエンザA型 10人

5歳女 病原性大腸菌O1(+)VT(-)、カンピロバクター(+)

2歳男 病原性大腸菌O1(+)VT(-)

【岡崎市 にいのみ小児科】

インフルエンザは、すべてA型(2名は今季2回目のA型罹患)。

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

全てインフルエンザA型

【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】

インフルエンザ 25名全てA型(予防接種済12名、予防接種未13名)でした。今年全般に軽症者が多く、若年者の異常行動も少ない印象。

【岡崎市 粟屋医院】

インフルエンザA型24名、B型1名でした。

【岡崎市 医療法人永坂内科医院】

A型インフルエンザ引き続きいます。

ロタウイルス胃腸炎増加。

【碧南市 永井小児クリニック】

インフルエンザはすべてA型。

ロタ腸炎5名(1歳4名、3歳1名)

【刈谷市 田和小児科医院】

インフルエンザA 25名

インフルエンザB 1名

アデノウイルス 1名

【知立市 宮谷クリニック】

インフルエンザが流行中です。すべてA型です。

【三好町 三好町民病院】

感染性胃腸炎が再び増加。

インフルエンザA2名

水痘が増加。

【西尾市 やすい小児科】

インフルエンザ 36名、全てA型、ピークは過ぎた感じです。

【西尾市 山岸クリニック】

アデノウイルス感染症 3歳男

インフルエンザは 2例B型、それ以外は(51名)すべてA型です。

【幸田町 とみた小児科】

## 東三河地区

ロタウイルス性腸炎 4名。

【豊橋市 マミーローズクリニック】

溶連菌感染症が増えてきました。

インフルエンザ流行中 A型59名、B型4名。

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

7歳女 マイコプラズマ肺炎

インフルエンザは先週とほぼ同数 B型が約3割と増加しています。

【豊橋市 医療法人野村小児科】

インフルエンザA型16名 そのうち98歳女も含まれています。

インフルエンザB型 1名

【豊橋市 おだかの医院】

インフルエンザはA型55名、B型11名、A/B同時陽性1名の計67名でした(1歳から70歳)。同一小学校の6名がB型でした。

【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】

31歳男 B(+ )1件です。

51件(+ )です。A(+ )50、B(+ )1

【豊川市 豊川市民病院】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2009年2月10日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki jun080512.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2009年6週報告数			2009年累計(1～6週)		
	総数	喀痰塗抹検査陽性者数再掲	無症状病原体保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査陽性者数再掲	無症状病原体保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	7	1	4	73	20	13
豊田市	2			9	4	1
豊橋市	1			8	1	
岡崎市	1	1		6	2	1
一宮	5	2	1	19	7	1
瀬戸				8	2	
半田						
春日井				6	3	
豊川				5	3	
津島				8	1	2
西尾				3	1	
江南	1			9	3	3
新城				2	1	
知多				7	1	3
師勝						
衣浦東部				3	3	
合計	17	4	5	166	52	24

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	77歳	女	肺炎型	国内

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	岡崎市	52歳	男	腸管アメーバ症	不明	国内

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	50歳	男	AIDS	性的接触	国内
2	豊橋市	23歳	女	AIDS	性的接触	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	31歳	男	早期顕症	性的接触	国内
2	衣浦東部	49歳	男	早期顕症	性的接触	国内

2009年1月報 (2009年2月6日現在)

1月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [診断日に基づく集計。( )は無症状病原体保有者再掲。]

2007～2008年に報告のあった 疾病名および病型 ( )内は全数把握対象疾病数		2009年1月			2008年 総計 <愛知県全体>	2007年 総計 <愛知県全体>	
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体			
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0	
二類 (5)	結核	75 (8)	53 (7)	128 (15)	2,044 (329)	1435 (118) #1	
三類 (5)	コレラ	0	0	0	1 (0)	0	
	細菌性赤痢	0	0	0	14 (0)	25 (0)	
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	166 (32)	166 (36)	
	腸チフス	0	0	0	4 (1)	3 (0)	
	パラチフス	0	0	0	2 (0)	0	
四類 (41)	E型肝炎	0	0	0	1	8	
	A型肝炎	0	0	0	4	6	
	エキノкокクス症	0	0	0	1	0	
	オウム病	0	1	1	0	1	
	Q熱	0	0	0	1	1	
	つつが虫病	0	0	0	6	4	
	デング熱	0	0	0	12	7	
	日本脳炎	0	0	0	1	1	
	ブルセラ症	0	0	0	2	0	
	マラリア	0	0	0	6	1	
	レジオネラ症	3	1	4	57	41	
五類 (14)	アメーバ赤痢	5	2	7	58	59	
	ウイルス性肝炎	0	1	1	15	8	
	内訳	B型	0	1	1	15	7
		C型	0	0	0	0	1
	急性脳炎	0	0	0	10	5	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	8	6	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	10	6	
	後天性免疫不全症候群	2	11	13	109	123	
	内訳	無症候性キャリア	1	7	8	55	79
		AIDS	1	3	4	47	38
		その他	0	1	1	7	6
		ジアルジア症	0	0	0	1	1
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	2	
	梅毒	4	3	7	68	75	
	内訳	無症候	1	1	2	26	19
		早期頭症	3	2	5	39	52
		晚期頭症	0	0	0	2	1
先天梅毒		0	0	0	1	3	
破傷風	0	0	0	12	0		
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	0	1	6	2		
風しん	0	0	0	3	-		
麻しん	3	0	3	198	-		
総 計		93	72	165	2,820	1,986	

#1; 2007年4月1日～12月31日診断分

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2009年1月			2008年 総計	2007年 総計
		愛知県 <small>&lt;名古屋市除く&gt;</small>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア	82	54	136	1,890	1,699
	性器ヘルペスウイルス感染症	15	27	42	693	576
	尖圭コンジローマ	18	15	33	502	462
	淋菌感染症	29	36	65	789	810
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	73	10	83	1,203	1,045
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	8	1	9	106	87
	薬剤耐性緑膿菌感染症	1	0	1	5	10

感染症の類型及び定義(感染症法)

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。鳥インフルエンザ(H5N1)が平成20年5月12日の法改正により従前の四類感染症鳥インフルエンザから除かれ、二類感染症に追加された。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (41疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (41疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。



愛知県感染症情報

2009年6週(2009年2月2日～2009年2月8日)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び 新型インフルエンザ等感染症を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)
計	28	4,261	22	216	930	205	3	2	83	4	0	86	0	3	0	0	7	0
～6ヶ月	10	22			16	5												
～12ヶ月	9	69	1	1	54	10			46									
0歳																		
1歳	4	197	10	7	157	26	2		33			2						
2歳	3	208		8	116	27	1	1	4			8		1				
3歳		267	4	16	64	28		1				8						
4歳		410	3	37	76	46				1		16					1	
5歳		385	3	42	62	23						15						
6歳	2	326	1	35	45	20						13						
7歳		258		14	55	9						9						
8歳		233		15	41	4						5						
9歳		208		9	25	2						1						
5歳～9歳																	2	
10歳～14歳		591		19	77	4						7						
15歳～19歳		126		1	10													
20歳～				12	132	1				3		2						
20歳～29歳		274																
30歳～39歳		368												1				
40歳～49歳		183												1			1	
50歳～59歳		59																
60歳～69歳		37															1	
70歳～																		
70歳～79歳		26															1	
80歳以上		14															1	

\*鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く